



気仙沼向洋高等学校 進路指導部
K1進路委員 小松優衣 千葉咲恵

※light houseとは「灯台」を意味します。向洋生の未来（進路）を照らし、航海（将来）が順調に進む「道標」となりますように。

現在は過去の結果・未来は現在の結果

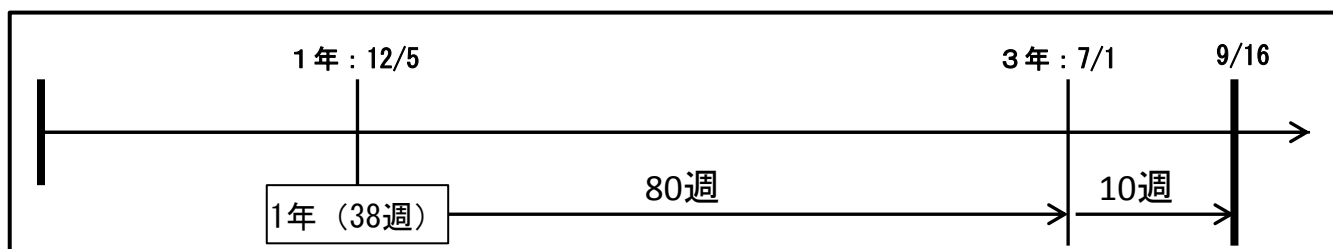
進路指導部長 岸 貴 司

今年最後の進路通信です。皆さんにとってこの1年はどんな1年だったでしょうか。

さて、昨年に引き続き、この第7号で「1学年進路ガイダンス」とハローワーク主催の「高等学校卒業生就職対策連絡会議」で気になったこと、全校生徒に伝えたいことをまとめます。

12月5日(火)「1学年進路ガイダンス」・12月10日(日)「PTA進路講演会」では、仙台総合ビジネス公務員専門学校の安部卓也先生を講師に講演会が行われました。2年生の先輩も昨年安部先生の講演を聴いたので覚えていると思います。1年生の感想文を読んでも、安部先生の講演はとてもしっかりやすく、勉強になり、ズバ!ズバ!っと1年生の心に刺さったようです。

先生は下図のように高校生活の「残された時間の時系列」を書き、進路実現の話をしてくれました。



少し分かりにくいので、私なりにアレンジしてみると下の通りです。

- 1年生は入学して 38週 → 就職試験解禁(9月16日)まで約90週
- 2年生は入学して 90週 → 就職試験解禁(9月16日)まで約40週
- 3年生は入学して142週 → 卒業まで11週

あといくつかで・・・卒業式や人生を決める就職試験がやってくるのでしょうか。見通しが持てましたか。3年生は、卒業式まで11週(冬休み明け登校日は21日)しかなく、社会人となる準備は大丈夫でしょうか。

そして、1・2年生の皆さんは、残り90週、40週の過ごし方に、進路実現とそれから先の人生(定年までの47年間)がかかっています。「3年生になってから頑張ればいい」では遅いのです。時間がありません。「今の頑張り」「今の高校生活」が自分の人生を変えるのです。3年生の卒業式が目標ではなく、幸せな就職ができるための就職・進学なのです。やめない就職をするためにはどうすべきか(安部先生は離職と転職のリスクについても話されていました。)、残り90週、40週の1日1日が評価されているのです。

では、何をすべきなのでしょう。先日私が出席した気仙沼ハローワーク主催の「高等学校卒業生就職対策連絡会議」の資料にそのヒントがありました。気仙沼管内の事業所が、高卒就職者や学校に求めることとして『仕事に対する意識』『社会人としての常識(挨拶・言葉遣い)』『「働くとは」等の意識付け』『コミュニケーション能力』などを挙げていました。同じ資料には今年管内の事業所に就職した先輩達からの後輩へのメッセージもまとめられていました。『自分の進路について真剣に考えて下さい。』『1年次から将来について考えてください』『後悔しないよう自分がやりたい仕事を選んでください。』『取得可能な資格は頑張って取得しておいてください。』『挨拶、服装、言葉遣いをしっかりと身に付けて下さい。』『勉強(敬語・読み書き・数学など)を頑張って下さい。』などでした。事業所も就職した先輩達も、とても当たり前で大切なことを高校生や学校に求めています。

時間はあるようでないのです。安部先生は「現在は過去の結果・未来は現在の結果」と強く話されていました。高校卒業後の進路実現という壁は、実は大変高く厳しいものです。今やるべきコトをやらなければ、後で後悔するのも自分自身であり、その全てが自分自身の人生につながっているのです。

では、どうしたらいいのでしょうか。先ほどの会議資料には就職した先輩のメッセージとして『家族・先生・周りの方に相談して下さい』ともありました。現在どうしたらいいのかわからない1・2年生は、ぜひ保護者や担任・科の先生・私をはじめとする進路指導部の先生に進路について相談してみてください。それから動き出すことで、未来が変わるかもしれません。

採用内定者の声

第三弾となる今回は、機械技術科の4人にインタビューをさせていただきました。

機械技術科(機械システム類型): 坂本 佑太 部活動:ハイテククラブ
内定先:株式会社SUBARU群馬製作所



この企業を選んだきっかけは、私はエンジンが好きでエンジンを作りたいと思ったからです。SUBARUは他社とは違い、エンジンの部品をイチからつくる事や、技能五輪の旋盤職種にも取り組んでいることを知り、そこで働きたいという熱意を持ったからです。就職対策で一番苦労したことは、面接練習です。希望した企業のことをより深く知るために勉強しました。その結果、企業への熱意と入社後何をしたいのかを明確に伝えられたと思います。どれだけその企業で働きたいか、入って何をしてどんな人間になりたいのかを伝えることが大切だと思うので頑張ってください。

機械技術科(機械システム類型): 岩井 瑞樹 部活動:ラグビー部
内定先:日産自動車株式会社



この企業を選んだきっかけは、日産の車が好きで、自分の手で好きな車を作れたら楽しいだろうと思ったことと、日産のトップになり新しい日産を作り上げていきたいからです。就職対策で苦労したことは、一般常識の本を買って、朝読書の時間などを利用して勉強しながら、毎日19時まで面接練習の日々に逃げ出しそうになったこともありました。その日々のおかげで、日産が好きだということ、日産で働きたいということ、どんなことをしたいのかを実際にアピールしてことができました。早めに勉強や面接練習をする、面接練習をやりすぎないこと、本番は練習通りにするのはではなく、自然体で。なぜその企業で働きたいか、入社したらどんなことをしたいのかを明確にしておくことが大切だと思います。



機械技術科(機械システム類型): 小野寺 真之介 部活動:バレーボール部
内定先:日産自動車株式会社



この企業を選んだきっかけは、もともと車に興味があり、そんな中先生に勧められて興味を持ち、その会社を調べて決めました。就職対策として、その企業によって重視している教科や苦手としている教科を重点的にやりました。面接では、入社して何をしたいのか、自分の強み、その企業をどれくらい知っているかをアピールすることができました。就職や進学では不安になると思いますが、その不安を一つずつ消していく事が大事だと思います。面接では、深く聞かれることが多いが練習すればするだけ不安が消え、自信がついてくるし、ここでこう聞かれるなら次はこう聞かれるのではないかという対策もできます。学科では、先輩たちが残してくれた過去の問題を見て、出題傾向などを知ることができます。また、先生に頼るのもいいが、自分でその企業、学校を調べるといことも必要だと思うのでぜひ実践してみてください。

機械技術科(機械システム類型): 本多 零 部活動:テニス部
内定先:フェスト株式会社



この企業を選んだきっかけは、実習で行ったエアシーケンスを通してメカトロニクスの楽しさを知り、メカトロニクスに関わりながらも教育に関する仕事に就きたかったからです。今回の試験では面接のみだったので、とにかく面接練習をたくさんしました。機械技術科の先生だけでなく、部活の顧問の先生に練習を頼んでアドバイスをいただきました。その中で苦労したことは話し言葉と書き言葉が混ざってしまうことがあり、頭の中でいったん整理して話すのに苦労しました。本番の試験では、自分がどれだけメカトロニクスが好きかどうか。目標があり、それを達成するために、頑張っていくこと。また、持っている資格の数や3年間部活動を続けてきたことを理由に自分の根気強さなどをアピールすることができました。

後輩達へのアドバイスとして、自分の進路をどうしたら良いのか分からないときは大体でいいので希望する職の内容等を先生に相談した方が良いと思います。また、成績はいくらでも良い方が選択できる幅が広がるのでせめてテスト期間中ぐらいは死ぬ気で勉強した方が良いでしょう。面接練習はたくさんやったほうが自信にも繋がります。たくさんアドバイスをいただいて分からなくなってしまったら、自分の中で必要なものだけ取り入れていけば良いと思います。



理科の勉強方法について袖野先生にお聞きしました！

本校で実施している理科の授業では、1年生では物化生地（物理・化学・生物・地学）の4分野について、2年生では物理、化学の基礎の学習をしています。理科を学ぶ上で大切なことは、日常に溢れる科学的な現象に疑問を持つことであると私は考えます。当たり前だと切り捨てず、なぜ？どうして？と思考することが、理科を学ぶ意欲に繋がっていきます。

授業では身近な現象の原理について、図を描いたり実験を取り入れたりして説明しています。授業のプリントは板書通りに色分けしながら、丁寧に書いて下さい。また、一度で全て理解することは難しい内容もあります。特に計算問題など、解き方を習得するには時間が必要です。同じ問題を解いて理解を深めて下さい。

理科を学ぶことで、皆さんにとって当たり前だと思っていた世界が、これまでと少し変わって見えれば幸いです。残すは第4考査のみ、頑張ってください！！

今後の行事予定

- ・1月9日（火） 1. 2年生進路模試
- ・1月23日（火） 2学年進路ガイダンス
- ・2月5日（月） 3学年社会人準備セミナー
- ・2月6日（火） 1学年進路講話（職業別ガイダンス）
- ・2月13日（火） 3学年社会人準備セミナー



次号予告

合格者の声第4弾！！（公務員合格者より）

編集後記

進路通信の制作を通して、就職対策として先輩方が自分なりに勉強をしたり、その企業のことを自分で調べたりしていてどれだけ大変かを知ることができました。自分たちが3年生になったときには、アドバイスして頂いたことを忘れず頑張りたいと思います。ご協力して頂いた先輩方、先生方ありがとうございました。

K1進路委員 小松優衣 千葉咲恵

